



# 梨花

題字/ 故西尾邑次  
元名誉会員揮毫

第73号

2024年2月26日発行  
東京鳥取県人会事務局  
〒102-0093

東京都千代田区平河町2-6-3  
都道府県会館10F

電話 03(5212)9178

FAX 03(5212)9079

発行責任者/ 福井宏一郎

編集/ 県人会広報部会

<https://www.pref.tottori.lg.jp/tokyokenjin/>

「令和5年総会と懇親の集い」は、11月3日（文化の日）に開催しました。好天に恵まれ、大勢の会員そしてご来賓の方々にご出席いただき、賑やかな楽しい集いとなりました。

令和5年11月3日（金・祝）、都市センターホテルにて「令和5年総会と懇親の集い」を開催し、ご来賓や会員の皆様、あわせて約200名の方々にご参加いただきました。

勝部日出男総務部会長による司会、福井宏一郎会長の簡潔な挨拶で総会が始まり、県人会事務局長 堀田晶子（県東京本部長）さんから会務報告、満場の拍手で承認され、総会は簡潔に終了しました。

講演の部は、ガイナール鳥取の岡野雅行代表取締役GMより、鳥根県での高校生活、日本代表のワールドカップ初出場、代表取締役就任などユーモアを交えながらこれまで、

そして恒例の福引大会が始まり、会場はさらに盛り上がり、最後は参加者全員による記念撮影および「ふるさと」の合唱の後、浜崎県議会議長の「来年もここで会いましょう」と3本締めでお開きとなりました。

## 《東京鳥取県人会役員体制》

役職名	氏名	任期	自至	令和5年総会から 令和6年総会まで
顧問	足立 盛二郎 金子 亮太郎 萬治 隆生			
名誉会長	吉田 政雄			
名誉会員	池田 百合子			
会長	福井 宏一郎			
副会長	市川 祐一郎 勝部 日出男 長尾 克己			
評議員	赤澤 亮正 石破 茂 上山 信一 <u>橋本 文夫</u>			
	金田 哲夫 古賀 信三 小島 順一郎 近藤 裕			
	林田 英樹 <u>藤井 一博</u> 舞立 昇治 三角 幸子			
	本池 滋夫 山内 治男 山田 憲典 山本 和昭			
常任幹事	湯原 俊二 米濱 和英			
	(東部) 奥田 真三 小島 憲道 平石 政伯			
	(中部) 加藤 雅子 倉部 康行 藤井田 多恵子			
	(西部) <u>遠藤 守</u> 柏木 雅浩 吉川 博			
会計監事	花房 幸範 松嶋 一海			
事務局長	堀田 晶子（鳥取県東京本部長）			

※1 紙面の都合上、幹事の皆様の記載は略しました。

※2 下線の方は新任、または異動者



初場所準優勝の琴ノ若、大関昇進!!  
佐渡ヶ嶽部屋 千秋楽祝賀会にて

令和6年総会と懇親の集い  
令和6年度東京鳥取県人会「総会と懇親の集い」は、11月4日（月・振替休日）11時半より、都市センターホテルで開催されます。皆さまのご出席をお待ちしています。

## 東京鳥取県人会 令和5年 総会と懇親の集い



**【広告募集中】**

**株式会社 チュウワ**  
取締役会長 **大田 英二**  
〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町20-7  
ITOビル6F  
TEL 03-5640-8122  
FAX 03-5640-8100

リンガーハットグループは昭和37年、長崎県長門郡の「とんかつ浜かつ」の開業に始まります。その後、長崎ちゃんぽん専門店として「リンガーハット」の店舗展開を始め、創業より60年が経ちました。今では海外へも進出し、グループ合わせて700店舗を展開しています。

**株式会社 リンガーハット**  
名誉会長 **米濱 和英**  
(鳥取市出身)  
〒141-0032 東京都品川区大崎1-6-1 TOC大崎ビル14F  
TEL 03-5745-8611 FAX 03-5745-8622

国産野菜たっぷり「彩り野菜のちゃんぽん」

**株式会社 不二家**  
FUJIYA 代表取締役会長 **山田 憲典**  
〒112-0012 東京都文京区大塚2-15-6  
TEL: 03-5978-8100

新年の挨拶

東京鳥取県人会会長 福井 宏一郎

今年の新年は、まさに元日に能登半島を襲った強い地震の年明けとなりました。犠牲になった方々、そして長く悲かな生活を余儀なくされている被災地の皆様に、哀悼と連帯の心を捧げたいと思います。

東京鳥取県人会は、コロナ後の本格的な活動を再開し、昨年11月3日には、総会・懇親会が開催されました。平井



知事、国会議員の方々を始め、郷里から各界の参加を頂き、市町村長を囲むテーブルでは、それぞれの古里との交流に話が盛り上がりました。

新年になってからは、歌舞伎鑑賞会、新年賀詞交換会、そして大相撲初場所観戦会と続きました。これからも皆様と楽しい企画を続けます。

大相撲の琴ノ若と伯桜鵬は東京鳥取県人会の会員です。琴ノ若は今年の初場所所準優勝の快挙となり、大関昇進、琴櫻への襲名が期待されます。また、一年前に彗星のように現れた「平成の怪物」伯桜鵬は、新入幕の名古屋場所

卒業試験

常田 照雄

2004年1月31日凍てつく土曜日の朝、その事件は起きた。こともあろうに、毎日新聞の社長が、拉致 監禁されたのである。

社会部長としての過酷な勤務を終え、編集局次長に異動していた私は、何も知らずのんびりと昼寝を楽しんでいた。

「常田くん、休みに悪いけど急いで家に来てくれるかな」

着信音で反射的に手にした携帯からS社長(故人)の緊迫した声が耳に飛び込んで来た胃の痛くなるような隠密裏の戦いが、その日から27日間も続こうとは、その時は思いもしなかった。

社長に託されたミッションは二つ。捜査当局との緊密な連絡調整と、監禁中に数台のデジタルカメラで撮られた屈辱的な裸の写真がネットに流出する事態を避けることだった。

ヤマ場は一週間後にやって来た。実行犯六人が一斉に逮捕されたのである。反社の疑いで、毎日の子会社から取引

随想リレー



停止になった業者たちだった。逮捕劇の舞台は都心の超高級ホテル。その上この日、関係先の捜査に百人を超す捜査員が動員された。他メディアに動きが漏れるのは必至と思われた。

騒ぎが大きくなると、それだけ写真流出の危険性は増す。緊迫した時が過ぎて行った。「常さん、写真は完封したぞ」専用の携帯で逐一連絡を取り合っていた警視庁捜査一課長(故人)から、「ドヤ声」で電話が入ったのは、六人の起訴の数日前のことだった。

事件から27日目の朝、毎日が記者発表をするまで、結果的に情報漏れは起きなかった。

あの27日間は、生涯事件記者を志した男の「卒業試験」ではなかったか。20年後の今、そう思い返すのである。

「総会・懇親の集い」写真集

(歓談中のところにお邪魔し、写真とりますとお集まりいただきました。紙幅の都合上その一部しか載せられなかったことお詫びいたします。)



左から、遠藤 守さん、吹野博志さん、足立盛二郎さん、小泉典子さん、(後) 森田敏夫さん、景山 正さん



左から、(前列) 遠藤隆司さん、岡野雅行さん、河崎妙子さん、山田憲典さん、(後列) 友定義晴さん、藤井田多恵子さん、衆議院議員石破 茂さん



左から、(前列) 松本美佐子さん、片山香織さん、尾崎幹子さん、本田顕彦さん、岸本収次さん、(後列) 小林 淳、柴田順子さん、小林円香さん、松本弥生さん



左から、鳥取県知事 平井伸治さん、会長 福井宏一郎さん、副会長 市川祐一郎さん



左から、本田顕彦さん、片山香織さん、福田圭佑さん、山本直生さん、安酸庸祐さん



左から、(後列) 檀原喜代さん、小野憲彦さん、足立盛二郎さん、福井史枝さん、(前列) 勝部陽子さん、平石裕子さん、足立幾子さん



左から、(後列) 前田徳夫さん、檀原 雅さん、小島憲道さん、梅原正樹さん、(前列) 佐々木英介さん、平石政伯さん、大藤磊次さん



左から、(前列) 日江津村長 中田達彦さん、下村節宏さん、下村明子さん、井田年厚さん、(後列) 小野憲彦さん、門脇一宏さん



左から、林原有香さん、衆議院議員 石破 茂さん、山田憲典さん



左から、(前列) 尾崎康道さん、八頭町長 吉田英人さん、尾崎正夫さん、(後列) 八頭町議会議員 尾島勲さん、岡垣義壽さん



左から、(前列) 越谷重友さん、鳥取市企画推進部長 塩谷範夫さん、常田照雄さん、(後列) 金子亮太郎さん、越谷英作さん、田中邦明さん



左から、(前列) 井上邦信さん、倉吉市長 広田一恭さん、小島順一郎さん、(後列) 藤井田多恵子さん、岡野 稔さん、上本浩司さん、徳田収さん



左から、(前列) 中瀬 誠さん、加嶋 孔さん、三角幸子さん、(後列) 山本 周さん、岩美町副町長 田中祥一さん、岩美町議会副議長 澤治樹さん



左から、神庭浩志さん、衆議院議員 赤澤亮正さん、清原大助さん



左から、(後列) 上司則子さん、松本 武さん、青砥 基さん、佐々木宏さん、(前列) 境港市総務部長 木村晋一さん、手島淳行さん、渡邊省蔵さん



左から、(後列) 越生明彦さん、吉川 博さん、友定義晴さん、米子市副市長 伊澤 勇人さん、赤羽益三さん、(前列) 小澤彩菜さん、小澤法子さん



左から、(前列) 萬治隆生さん、中井隆明さん、太田悦子さん、藪内雅幸さん、(後列) 石井健蔵さん、松田匡智さん



左から、(後列) 江原啓彰さん、林田英樹さん、岩永達也さん、坂本健一さん、(前列) 三ツ國全代さん、森本和夫さん、河崎妙子さん



左から、副会長 長尾克己さん、遠藤隆司さん、金子亮太郎さん

### ふるさとの温泉自慢

ト旅館・老舗旅館など大小様々な旅館が19件あります。泉質は、ナトリウム・カルシウム塩化物泉で、湧出量は毎分4456.5リットルと豊富な湯量を誇ります。源泉数は19カ所。源泉温度は63〜83℃と高温で、主な効能は神経痛、リウマチ、慢性皮膚病、慢性婦人病などです。

#### 皆生温泉

皆生温泉旅館組合

弓ヶ浜半島の付け根に位置する皆生海岸は「日本の渚百選」。「日本の白砂青松100選」に選定される屈指の景勝地。目の前に美保湾が広がり、東の空に大山を仰ぐこの得難い立地に、本格的な温泉開発がはじまったのは、ちょうど100年前のことです。

最初に温泉が確認されたのは、明治の頃。地元の漁師たちが200m沖の、海底コンコから温泉が湧いているのを発見します。けれど場所が場所だけに利用することなく歳月が流れて、30年後の1900年（明治33年）、今度は海岸の浅瀬に湧く温泉が発見され、海に湯が湧く「皆生温泉」の開発が行われました。

お楽しみは夏の海水浴シーズンのみならず、「食のみやこ鳥取県」が誇る地元の境港産「松葉ガニ」や「蟹のフルコース」、旬のお魚などのお料理も自慢です。自然豊かな地元で作られた美味しい地酒・お料理・温泉で思う存分堪能して下さいませ。皆様のお越しを心よりお待ちしております。



皆生温泉 海水浴



皆生温泉 花風の足湯

皆生温泉には海沿いのリゾート

皆生温泉には海沿いのリゾート

## 日本初の「温泉湯治＋認知症予防プラン」を鹿野温泉国民宿舎「山紫苑」が開始

日本パーソナルソング・メソッド協会

理事 津森 修二

令和5年6月に「認知症基本法」が成立しました。そこには「国・地方公共団体は、認知症施策を策定・実施する責務を有する」とあり、ひいては国民の理解と協力を求めるという内容で、予防を含む認知症研究成果

の普及・活用・発展を促しています。これを受け、鹿野温泉国民宿舎「山紫苑」（電話0857-84-2211）ではいち早く今話題の認知症予防プログラムを取り入れた「鹿野温泉と美味会席＋懐かしい音楽とおしゃべり

## 鳥取県立鳥取西高等学校 150年の歩み

小島 憲道（鳥取西高、関東地区同窓会 会長）

鳥取県立鳥取西高等学校は2023年に創立150周年を迎え、昨年の10月25日には盛大な記念式典と祝賀会が行われました（記念式典の写真参照・鳥取西高提供）。ここでは、鳥取西高等学校150年の歩みを紹介したいと思います。

1873年、鳥取第一中学校は鳥取藩校の尚徳館を受け継ぎ、鳥取県で最初の中学校として創設されました。その後、1888年には、鳥取高等女学校の前身である鳥取女学校が創設されました。鳥取第一中学校時代の特筆すべきこととして、1915年の第一回全国中等学

加されるのがお勧めです。認知症研究の先進県で温泉王国でもある鳥取県は当協会にぴったりだと思ひ、昨年末に東京から鳥取市鹿野町に移住してまいりました。今後は温泉地で働くカウンセラーも育成し新たな産業も創生します。この事業は認知症研究の第一人者である鳥取大学医学部浦上克哉教授にも絶賛を頂いており、「令和5年度鳥取県地域課題解決型起業支援補助金事業」にも採択され、実行団体として当協会傘下に『覚脳研究所 https://kakunou.jp』を起業しています。」と話してくれました。

加されるのがお勧めです。認知症研究の先進県で温泉王国でもある鳥取県は当協会にぴったりだと思ひ、昨年末に東京から鳥取市鹿野町に移住してまいりました。今後は温泉地で働くカウンセラーも育成し新たな産業も創生します。この事業は認知症研究の第一人者である鳥取大学医学部浦上克哉教授にも絶賛を頂いており、「令和5年度鳥取県地域課題解決型起業支援補助金事業」にも採択され、実行団体として当協会傘下に『覚脳研究所 https://kakunou.jp』を起業しています。」と話してくれました。



鳥取西高 150周年記念式典

## 地方創生ばなし《その22》

〜とっとりから始まる宇宙利用時代〜

「株式会社スペースシフト」

代表取締役 金本 成生

近頃、宇宙に関するニュースが増えたとお感じになったことはありませんか？アポロ11号の月面着陸から55年、宇宙開発はより身近な存在になっていきました。先日1月20日に日本の月面探査機「SLIM（スリム）」が日本初の月面着陸を成功させました。米露中印に続く5カ国目の快挙となります。鳥取県でも鳥取砂丘の地質地形を活用した鳥取砂丘月面実証フィールド「ルナテラス」が昨年7月にオープンし、2030年代に打上げられる月面車のタイヤの試験など、世界各国から実証の場として注目されています。弊社スペースシフトは、衛星データの解析技術を開発する企業で、2009年に東京で創業しました。2022年5月には米子に衛星データ研究所を設立し、鳥取県全体を実験場として農林水産業を中心に衛星データの利活用について研究開発を行っています。2010年ごろから米国の中心に「ニュースペース」と呼ばれる、民間企業による宇宙開発を推進する取り組みがスタートしました。スペースXなどの企業がNASAから委託を受けて、より低



ネギ畑で生育状況の計測



コスト削減や、より効率的な宇宙を利用したスマート農業の実現をとっとりから発信していきます。またこの活動を通じて、これからの宇宙時代を担う中高生や若者に、宇宙に興味を持ってもらい、とっとりから宇宙につなげることができるといってワクワクしています。



津森和美 代表理事

### ふるさとの会 《関東南部会》

古志 朋之

南部町への入り口に出雲街道で旅人の目印とも言われた手間山(要害山)が聳えその麓には赤猪岩神社がある。この神社は大国主命が死から蘇った場所と言う。右手の「母塚山」は眺望が良く大山から島根半島や日本海までパノラマの景色が一望出来る。

秀峰大山を望める「とつとり花回廊」は日本最大級のフラワーパークも有り、山陰地域で最大級の「三崎殿山古墳」や鎌倉山・金華山・天宮山・緑水湖・法勝寺川土手の桜並木、これが南部町である。

関東あいま会は平成四年(一九九二年)九月に設立され、平成の合併を受けて「関東あいま会」は前西伯町の方と一緒に、「関東なんぶ会」として平成二十三年(二〇一一年)十月の総会から新たにスタートした。

現在、共同代表として山中昌之さん(前西伯町出身)と私(前会見町出身)、そして亀尾秀司さん(前西伯町出身)が事務局局長で運営している。

直近の総会は令和元年(二〇一九年)の十月には陶山清孝町長をはじめ総勢で三十七名の参加を見て大変賑わったものである。最後は南部町出身の音楽家森岡紘子さんの歌と皆さんで唱歌「ふるさ



と」を歌い次年度の再会を誓ってそれぞれ別れたものだった。

その後、コロナ禍で総会も今日に至るまで中断しましたが、近況を書き会員の皆さんに元気な様子を知って頂くように定めています。



と執筆希望者を募り町の協力も得て二〇二二年三月に「なんぶ人文集」コロナ禍に生きて、思うを発刊しました。町長はじめ地元の方々に写真と名所旧跡の懐かしい写真を26名の方々に頂き51頁の立派な文集になりました。昨年から集まれない代わりに近況報告をメールで事務局に送っていただいております。

外出がやっと緩和され、今年五月十八日には約四年半振りに関東なんぶ会の総会を予定しています。

### 同窓会だより 「八頭高校関東同窓会」

会長 杉原宗人(昭和51年卒)

2023年12月2日に八頭高校関東同窓会を4年ぶりに開催しました。参加者は昭和33年卒業(84歳)〜平成27年卒業(27歳)の幅広い年齢層の35名が集まりました。最年長、最年少の年齢差は57歳。母校が歩んできた長い歴史を感じた次第です。

会長の冒頭挨拶に続き、副会長の乾杯音頭により開会。出席者全員から八頭話、母校の思い出、近況報告などの楽しい話題を提供いただき3時間半のフルタイムで会が盛り上がりました。

会の中で、母校が2025年に創立100周年を迎え各種行事やイベントが予定されていることを伝えるとともに、鳥取県の明るい話題として若桜鉄道のコロナ後のトピックス、2025年3月に倉吉に県立美術館がオープンすることや2024年10月に県内全域にて「ねんりんピクニック」はばたけ鳥取一が開催されることを伝え、ふるさと創生への協力と貢献をお願いします。

今回の開催は創立100周年行事の動向を踏まえ関東同窓会の時期、内容を検討することとしています。



(連絡先)  
事務局 岩永達也  
電話・03-5651-0932

### ふるさとの会 《東京境港会》

副会長 柏木雅浩

東京境港会は2018年、30代、40代の方々が中心となつて立ち上げた親睦会です。「境港」をキーワードに人と人がつながる場にしようとして、境港出身者だけでなく境港ゆかりの方々にもご案内しています。

名誉会長の司葉子さんも「境港ゆかりの方々がつながり、交流に発展する舞台となつて欲しい」と話されています。

2023年10月15日(日)第4回東京境港会を新橋とつとりおみやげ館もてなし家で開催いたしました。会場には大漁旗、境港市の幟などを飾り賑やかに装飾し、老若男女併せて54名が出席しました。足立盛二郎(元・東京鳥



取県人会会長)会長の挨拶、境港市副市長 清水寿夫さん、境港商工会議所名誉会頭 足立盛二郎さん、渡辺博道(前・復興大臣)さんを始めとする境港USJ大使の方々からご祝辞をいただきました。記念撮影、そして境港からご来場の奥森清(元・境港商工会議所副会長)さんの乾杯の音頭で、懇親会が始まりました。境港のお酒「千代むすび」を味わい、食後は出席者紹介が始まり、境港出身の堀田晶子(真東京本部長)さん、FISH大使のあらきゆうこ(プロフェッショナルドラマ)さん、岡空晴夫(千代むすび酒造社長)さん他多数が指名され、次々と登壇し松竹芸能所属のみよーちゃんによる絶妙

### 交流部会だより

第53回 因伯オープン 報告

ゴルフ会幹事 奥田 真三  
第54回 因伯オープン(東京鳥取県人会懇親ゴルフ会)が、10月23日(月) 神奈川の名門 湘南カントリークラブに於いて開催された。

春の大会に続き、行動制限が無い中での大会 快く楽しみましょう!との合言葉のもと、22名(うち女性4名)のゴルフ愛好者が参加し、秋晴れの下プレーを楽しみました。参加者全員最後まで無事完走し、プレー終了後のパーティー(表彰式)も全員参加の上実施することが出来ました。

優勝は市川祐一郎さん(中部地区)、準優勝は中山伸行さん(東部地区)、第3位は荻原聖子さん(東部地区)となりました。新ペリア方式による競技でしたが上位者はい

ずれも実力者が占める結果となりました。

団体戦は上位5人のネットスコアの合計で競われ、東部地区が見事優勝!!

久しぶりに中部地区以外の勝利でした。準優勝は中部地区、第3位は西部地区でした。優勝合計スコア382.2で準優勝382.4とわずか0.2の差でした。

今回新たな参加者もありましたが、52回秋大会と同数参加、53回春大会より1名減という参加者でした。因伯オープンは、春・秋の年2回開催しております。令和6年は、春は5月17日(金) 立野CC、秋は11月5日(火) 本厚木CCでの開催を予定しております。多くのゴルフ愛好者の皆さんの参加で盛り上げていきたいと思っております。また、開催案内をメールにて実施する関係から、県人会への登録と



交流部会

同様にゴルフ会名簿への登録も実施しておりますので、新たに参加希望される方は、以下のゴルフ会幹事へ連絡頂きますようお願い致します。

ゴルフ会代表  
中部地区担当：市川祐一郎 yuichiro.ichikawa@gmail.com  
東部地区担当：奥田 真三 okuda.sh@shinyo.com  
西部地区担当：吉川 博 kicchuan8520@gmail.com

(訃報)  
元東京鳥取県人会会長 上村正明氏が令和5年9月1日肺炎のためご逝去されました。86歳。

ご冥福をお祈りいたします。

上村 正明氏(かみむら・まさあき、元テトラ(現不動産トラ)社長、元運輸省(現国土交通省)港務局長  
東京鳥取県人会会長(平成19年〜平成21年)  
現・東京鳥取県人会顧問

### 【編集後記】

このたびは能登半島大地震の犠牲者の方々に心よりお悔み申し上げますとともに、被災された皆様の安全と1日でも早く平穏な生活に戻られますことを心よりお祈りいたします。

会員からの近況便り(500字)、読者の感想(200字)をお待ちしています。事務局宛て手紙、FAXでお寄せ下さい。

編集子

全国新酒鑑評会 金賞受賞蔵  
千代むすび酒造(株)  
代表取締役 岡空 晴夫  
〒684-0004 鳥取県境港市大正町131  
TEL 0859-42-3191 FAX 0859-42-3515

東京鳥取県人会  
東京鳥取県人会は、関東近辺在住の鳥取県出身者などから組織される団体です。約700名の会員を擁し、年1回の総会のほか、各種交流会などを行っております。皆様の御入会をお待ちしております。https://www.pref.tottori.lg.jp/tokyokenjin/